

公益社団法人 関西二期会

1964年(昭和39年)京阪神に在住する声楽家たちにより「二期会関西支部」として発足し、その後1980年(昭和55年)に「関西二期会」と改め、オペラに重点を置く演奏団体として活動を開始し、2010年(平成22年)4月1日付けで法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年(平成23年)12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となりました。

現在、その活動は年2回のオペラ公演や年6回の演奏会を軸とし、オペラ歌手の育成や、学校公演をはじめ、子供たちに向けた活動にも力を入れています。私たち関西二期会は、真摯な芸術活動を通じ広く社会に貢献することをめざしています。

知っていますか？

がつつたち
10月1日は
こくさいおんがくひ
「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ ねんど
令和5年度
こうえきしゃだんほうじん かんさいに き かい
公益社団法人 関西二期会

学校巡回公演事業

がっしょうこうえん
合唱公演



「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会



令和5年度

学校巡回公演事業



関西二期会合唱公演

プログラム

オープニング

小中 フニクリ・フニクラ

日本の歌メドレー

小中 四季を彩る日本の歌
(花～我は海の子～村祭～雪～ふるさと)

声が大変身!

小中 トランペット吹きの休日

声を聴き比べてみよう

小中 ソーラン節 (男声合唱)
ほたるこい (女声合唱)



みんながんばれ!

小 勇気100%
中 ジュピター
Jupiter

心と心を紡ぐ歌

小中 しあわせ運べるように～花は咲く～群青

楽しい二重唱

小中 猫の二重唱

オペラってなあに?

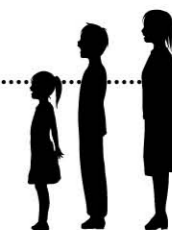
行け、わが想いよ、金色の翼に乗って 歌劇『ナブッコ』より(原語)
ハバナラ 歌劇『カルメン』より(日本語)
乾杯の歌 歌劇『椿姫』より(原語)

みんなで歌いましょう

小中 共演曲 ワークショップの成果を発表

校歌

小中 校歌斉唱
混声四部合唱



曲目解説

■フニクリ・フニクラ (L.デンツァ 作曲)

イタリアにあるヴェスヴィアス火山にフニクラレという登山電車があります。この曲は、電車が開通した時にコマーシャルソングとして作られ、当時はヒットとなりました。今でもイタリア人だけでなく世界中の人に歌われている曲です。

■四季を彩る日本の歌 (オリジナルメドレー)

小学生の皆さんがよく知っている童謡のメドレーです。心あたたまる歌詞やメロディーからは、かつての日本の暮らしぶりや風景、また日本人の豊かな感性が感じられます。これからの時代にも歌い継がれてほしいという願いを込めて歌います。

■トランペット吹きの休日 (L.アンダーソン 作曲)

運動会・体育祭でもおなじみの「トランペット吹きの休日」は、メロディーを聞けば「あっ!知っている!!」という人も多いでしょう。今日は歌詞のないスキヤットという歌い方で歌います。忙しいトランペット吹きが、休みが取れた嬉しさに思わず休みの日にまたトランペットを吹いてしまった、という話をもとに作曲されました。リズムカ

ルな速いテンポで、トランペット吹きの陽気な気持ちが表現されています。

■ソーラン節 (北海道民謡:福永陽一郎 編曲)

北海道・積丹半島の漁師がニシン漁の網を引っ張る時のかけ声「ヤー・ソーラン」から作られた、「沖場音頭」とよばれる作業歌です。日本にはこのように、その土地独自の歌がたくさんあります。今日は伴奏のない「ア・カベラ」という演奏スタイルで、力強い男声合唱の魅力をお届けします。

■ほたるこい (わらべうた:小倉朗 編曲)

この曲も「ア・カベラ」です。先ほどの「ソーラン節」とは対照的に女性の優しい声で可愛らしく歌われます。3つのパートに分かれて輪唱風に歌い、ほたるの光が点滅している様子を「ほ・ほ・ほ」と音楽で表現します。この曲はもともと、秋田地方のわらべうたでした。

■勇気100% (松井五郎 作詞・馬飼野康二 作曲)

アニメ「忍たま乱太郎」の主題歌として、皆さんもよく知っている曲ではないでしょうか。落ち込んでいる友達に「一緒にがんばろうよ」と励ますメッセージが込められています。今日は、混声四部合唱の息のそろう24人の歌声で、パワーをお届けします。

■Jupiter (吉元由美 作詞・G.ホルスト 作曲)

ホルスト作曲の「惑星」をアレンジしたこの曲は、「ひとりじゃない深い胸の奥でつながってる」と歌い、新潟県中越地震や東日本大震災の復興のシンボルとして支持されています。今なおロングヒットを続け、ドラマやCM、アーティストによるカバーなど老若男女問わず人気を集めています。

■しあわせ運べるように (白井真 作詞・作曲)

■花は咲く (岩井俊二 作詞・菅野よう子 作曲)

群青 (福島県南相馬市立小高中学校 平成24年度卒業生 構成:小田美樹 作詞:小田美樹 作曲:信長真富 編曲)

「しあわせ運べるように」は阪神・淡路大震災で、「花は咲く」「群青」は東日本大震災で、震災の経験や復興への願い、被災地への応援、また友達や家族をはじめ大切な人への思いを込めて作詞・作曲されました。未来への希望を願い、今も歌い継がれています。

■猫の二重唱 (G.ロッシーニ 作曲)

作曲家ロッシーニが生まれたイタリアでは、猫の鳴き声は「ミャウ」といいます。オス猫とメス猫の2匹が登場し、ネコ語で話します。二匹の物語と結末はいかに?! 歌と演技の両方をお楽しみください。

■行け、わが想いよ、金色の翼に乗って

歌劇『ナブッコ』より (G.ヴェルディ 作曲)

歌劇『ナブッコ』は、作曲家ヴェルディが初めて大成功した作品で、古代バビロニアとエルサレムを舞台にした壮大なオペラです。第3幕の合唱「行け、想いよ、金色の翼に乗って」は、今日でも第2のイタリア国歌と呼ばれ、親しまれています。

■ハバナラ 歌劇『カルメン』より (G.ビゼー 作曲)

場面はスペインのセヴィリアのタバコ工場前の広場。ここで働いているカルメンはとて魅力的な女性です。彼女は「恋はいうことを聞かない小鳥 飼いなすことなんか誰にもできない」と歌いながら兵隊のドン・ホセを誘惑します。登場人物が自分の気持ちを歌にのせて表現するのも歌劇(オペラ)の特徴のひとつです。

■乾杯の歌 歌劇『椿姫』より (G.ヴェルディ 作曲)

今から150年程前のフランス・パリのお話です。主人公はヴィオレッタという女性。毎晩パーティーを開き、お酒を飲んだり踊ったりして楽しんでます。ある夜アルフレードという青年が招待され、人々が「さあ、友よ飲み明かそう」と歌うのがこの「乾杯の歌」です。今日は原語(イタリア語)で歌います。歌手たちの表情や演技から華やかな場面を想像しながら聞いてみてください。